

2-4. あたらしい多摩市立図書館への提言

(1) あたらしい多摩市立図書館への提言

多摩市の図書館全体運営のあり方、また個別に、新中央図書館、駅前拠点図書館、地域図書館、それぞれの運営の在り方について、数々の提言を整理しておきます。
このたびの基本構想では「あたらしい多摩市立図書館への提言」を策定委員会や行政・市民グループヒアリングで広範に集めることができました。それら提言をチャート形式で前頁に整理してあります。

(2) 全体の図書館運営に関わる3要素のマネージメント

○資料・情報の構築と配置再編と管理について：

- ・~~本館中央館~~には、一箇所ですべての資料にもつながる蔵書、専門的で奥行きのある蔵書、調査や郷土や行政資料の充実が一般的です。
- ・~~分館地域館~~には、複本としての子どもや成人むきの基本的図書揃え、奥行きのある資料は本館から取り寄せます。新聞や雑誌などのニュース情報はインターネット端末とともに備えたいところです。

○職員・組織の構成と配置再編と管理について：

- ・~~本館中央館~~ができて、現職員の数を大きく増員はできません。
- ・~~本館中央館~~には、企画運営、蔵書構築、地域奉仕、直接サービスなど専門的で多方面の業務に、合理的な職員編成を行います。
- ・~~分館地域館~~には、貸出し、子どもを大切にする奉仕、相談業務、地域社会連携があり、~~少人数で全領域に対応する~~必要があります。専門性と総合性を備えた常勤館長が期待されます。

○施設・環境の配置と役割再編と管理について：

- ・~~本館中央館~~の施設環境に求められることは3章で述べています。
- ・~~分館~~の地域館や駅前拠点館についても、本館整備に合わせて、順次見直しや変更が必要になるかもしれません。本棚の配置を集約してサービスデスクに近接させ中心区域として、読書席やブラウジングなど人の居場所を拡大し、滞在型に充実させてゆきたいところです。

○経営バランスの企画調整と、投資対行政効果の検証について：

- ・各館の休館日（曜日）や開館時間をずらすなどして、利用者の不便が大きくなるようにしつつ、運用経費を圧縮できるような改革を工夫し、資料費の拡大分の捻出や直営の持続を図りたいものです。
- ・先進他市で見られる毎年の図書館歳費と行政効果（市民サービス）の検証と情報開示、翌年度への重点事業項目への反映も必要です。

(3) 図書館協議会など専門的な諮問機関の役割について

- ・図書館協議会は、館長が意見を求めて図書館運営について答申を参考に重要な機関です。専門性、地域性、社会要望、学校連携、など多様な視点が反映できるように編成の充実が市民から望まれています。
- ・協議会委員には学校長代表もいます。市域全体の図書館活動の一部として学校図書館にも連携や支援の意見を述べますが、学校図書館自体の充実策は、教育委員会や教育担当課の領域です。市立図書館が学校図書館を連動させた他市の事例研究も、今後は必要になるでしょう。

(4) それぞれの図書館の利用者懇談会や友の会など市民グループとの協働の試み

- ・多摩市では、文庫活動など子どもへのお話や障がい者支援にボランティア活動はありますが、読書会や図書館友の会など市民応援団が本館地域館ともに、先進図書館のように生まれませんでした。
- ・「図書館フレンズ、図書館には友人が必要です。」という、米国は宣伝文がありますが、多摩市の図書館にも友人が期待されます。

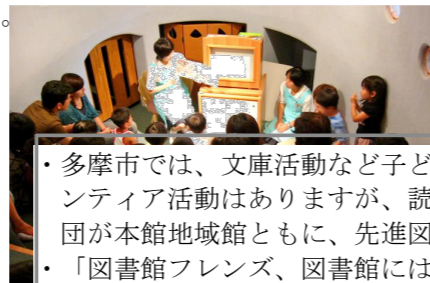
多摩市立図書館本館再構築基本構想
第二章 多摩市民のめざす図書館



- ・**中央図書館**には、一箇所ですべての資料にもつながる蔵書、専門的で奥行きのある蔵書、調査や郷土や行政資料の充実が一般的です。
- ・**地域館拠点館**には、複本としての子どもや成人むきの基本的図書揃え、奥行きのある資料は中央館から取り寄せます。新聞や雑誌などのニュース情報はインターネット端末とともに備えたいところです。

- ・**中央図書館**ができて、現職員の数を大きく増員はできません。
- ・**中央図書館**には、企画運営、蔵書構築、地域奉仕、直接サービスなど専門的で多方面の業務に、合理的な職員編成を行います。
- ・**地域館拠点館**には、貸出し、子どもを大切にする奉仕、相談業務、地域社会連携があり、**これら全領域の業務を少人数で**対応する必要があります。専門性と総合性を備えた常勤館長が期待されます。

- ・**中央図書館**の施設環境に求められることは3章で述べています。
- ・**地域館**や**駅前拠点館**についても、本館整備に合わせて、順次見直しや変更が必要になるかもしれません。本棚配置を集約するなどしてサービスデスクに近接させ中心区域として、読書席やブラウジングなど人の居場所を拡大し、滞在型に充実させてゆきたいところです。



- ・多摩市では、文庫活動など子どもへのお話会や障がい者支援にボランティア活動はありますが、読書会や図書館友の会など市民応援団が本館地域館ともに、先進図書館のように生まれませんでした。
- ・「図書館フレンズ、図書館には友人が必要です。」という、米国は宣伝文がありますが、多摩市の図書館にも友人が期待されます。

第三章 多摩市民を支える中央図書館

- 3-1. 中央図書館整備の「使命」そしてあらたに
- 3-2. 中心地区につながる開かれた中央図書館
- 3-3. 基本的図書館サービスと新しいサービス
- 3-4. 市民協働で「もの」と「こと」のデザインを

※各頁の文章を補完する挿入写真は、活動のイメージをお伝えするための各地の図書館の風景です。

3-1. 中央図書館整備の「使命」そしてあらたに

(1) 「知の地域創造」の担い手としての「本の館」の3つの使命をはたします。

多摩市の中央図書館整備にあたっては3つの柱を念頭にと、図書館協議会は提言をしています。

- ① 多摩市の図書館システムの中核として、7つの地域館と結び合い、その活動を支えます。
- ② パルテノン多摩との連携も図りつつ、多摩市の文化・情報・教養活動の基地となります。
- ③ 学校との連携も含め生涯学習の拠点となり、市民のコミュニケーションの向上に役立ちます。



少子高齢化の進む多摩市の将来を考えたとき、高齢者にとって住みよい都市づくりはもちろんのこと、若い世代にとっても魅力的で、とりわけ子どもを育てるのにふさわしい都市づくりの視点を欠かすことはできません。

幸い多摩市は豊富な自然環境に恵まれているうえ、多くの大学が集中する地域内に位置し、さらに芸術・芸能を発信する「パルテノン多摩」という貴重な施設を持つ文化水準の高い都市といえるでしょう。しかし、そうした中で活字文化や情報収集の拠点となる図書館の現状は、とても十分とは言えず、より魅力的な文化都市を創造してゆくためには、新たな「本の館（やかた）」というべき中央図書館を建設し、サービス内容を質量ともに深めていくことが求められます。（答申総論より）

上記の中央図書館の使命をしっかりと継承したうえで、新たに以下の使命を提起したい。

(2) そして新たに、中央図書館に期待される「都市の広場」としての使命も加えます。

- ① 子どもたちにとっての「愉快的ひろば」
それは、子どもたちにとっては、かつての、はらっぱ、かみしばい、おまつりひろば、にかわるものでしょう。出会うことが、知る喜びの入り口にあり、中央図書館は、ひろばを提供するのです。
- ② ティーンズにとっての「たまり場」
それは、十代の若い人にとっては、はやりの、おしゃべり場、自由広場、ラーニングcommons、であり、新しい意味での学習スペースといえるでしょう。中央図書館は、若い人たちに居場所を提供するのです。
- ③ おとなにとっての「知の広場」
それは、時間にゆとりのある高齢者ばかりでなく、働き盛りの壮年のひとたちにとって、ひとりの居場所、出会いの場所、知る喜びの場、生き抜いてゆくための知的トレーニングジム、おだやかさを取り戻すラウンジ、といえるでしょうか。中央図書館は、多様なサードプレイスを提供するのです。



図書館の中庭ひろばでボランティアが人形劇



ティーンズのたまり場、ラーニングcommons



ひろば型の開架室でイブニングコンサート

※出典：平成22年4月
多摩市立図書館協議会
「多摩市における中央図書館
機能およびその整備のあり
方について(答申)」
1, (総論)より

本に出会い、ものに出会い、
人に出会い、自分確かめる。
ひとりふと我に返る環境。
緑陰の読書テラスのイメージ

◎ トピックス： 公共施設の見直し方針の目的は、
安心して暮らし続けられるまちを目指し、
取り組みが本格的に始まります



人口減少や急速な高齢化等を迎える中、さまざまな課題や新たなニーズにも対応していくため、多方面から取り組んでいます。

◎ トピックス： パルテノン多摩の魅力再生と連携して、
パルテノン多摩

● 改修により、多くの市民に親しまれる公共ホールへ再生

パルテノン多摩は、昭和62年に開館してから、文化芸術の振興だけでなく、年間50万人を超える集客による経済効果等、多摩センターににぎわいをもたらす施設となっています。築29年目に入った建物の設備等は使用の限界を迎えていますが、突然の不具合による利用停止や講演中止は避けなければなりません。さらに、文化芸術活動の拠点施設として市民に親しまれる、また自然と人が集まるような公共施設として再生するため、施設の大規模改修を行います。同時に、多摩中央公園をはじめ周辺施設と一体的な整備を行うことで、多摩センター全体の活性化を図っていく考えです。改修に向けた市民参加の基本計画策定委員会でご意見をいただきながら、市民の皆さんに親しまれ、愛される施設として平成32年度の開館を目指します。



パルテノン多摩

◎ トピックス： 中央図書館の整備を中心市街地の活性化ビジョンに組み入れて、

4. 図書館本館の整備を進めます

※トピックス出典：
多摩市政策情報誌 vol.1.3
より

図書館

● 本館の恒久整備と
図書館全体の仕組みの見直し

平成30年までの暫定として旧中学校校舎を改修し使用している本館は、施設の安全確保や図書館サービス全体の維持、時代に合わせたサービスへの向上を行うため、再整備します。本館整備と合わせて、図書館全体の仕組みを見直し、地域に必要なサービス内容や運営体制について検討します。

整備地については、鶴牧倉庫跡地から変更し、学校法人桜美林学園との間で、現本館用地と交換を進めている多摩アカデミーヒルズ用地の一部で整備する予定です。施設整備や維持管理については、民間のノウハウや資金を活用する方法を検討するとともに、土地交換で生じた差額の収入を整備費用に使用します。



図書館本館 (旧西落合中学校)

鶴牧倉庫 (旧管路収集センター)

● 売却や貸付等の再検討

図書館本館の整備予定地として民間施設との合築による施設整備を行う方向性を示していましたが、検討した結果、民間による施設整備のメリットが少ないことから、売却や貸付等に向けて検討を行うこととしました。

3-2. 中心地区につながる開かれた中央図書館

(1) 中央図書館の敷地（候補地）に求められること

多摩市の中央図書館の敷地選定にあたり、都心部環境との関係づけの視点から、図書館協議会は提言をしています。そこでは、必要な条件が整理されています。

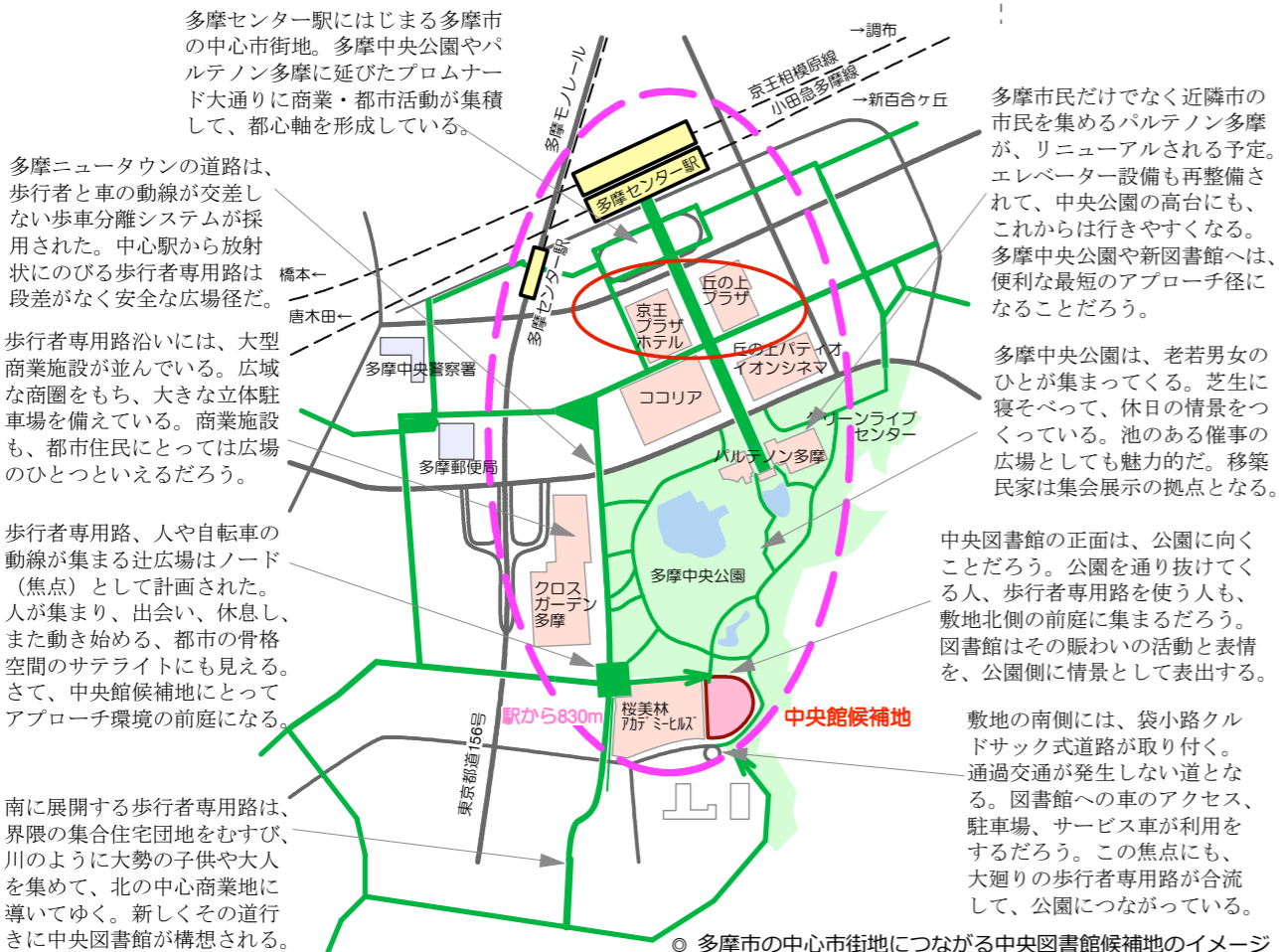
- ① 図書館建築の開架室には十分な広さが必要で、これを可能とする敷地。
 - ② 図書館の周辺用途や道行き環境には、ふさわしい環境がのぞましい。
 - ③ 公共交通機関から徒歩で行ける距離で、アクセスしやすい道行きがのぞましい。
 - ④ 利用者や運營業務の車が走行可能な道が必要で、十分な駐車場がとれるとなお良い。
- このたびの候補地は、施策の工夫次第で、4つの条件が満足されると思われる。

(2) 中央図書館候補地へのアクセスしやすさとイメージ

- 人のアクセス：多摩センター駅から敷地への距離は800m程で2ルートです。
 - ・公園西側の歩行者専用路は比較的なだらかな道で、自転車も使えます。
 - ・パルテノン多摩のエレベーターが改良される予定で、中央公園内を通る道は、階段部の上り下りについても快適な散策ルートとして歩けます。
 - ・南地域にお住まいの方々も歩行者専用路で焦点の辻広場からアクセスできます。
- 車のアクセス：南側のサービス車道から、送迎や駐車や業務の車両が入ります。近隣の公共民間の駐車場も中心市街地ですから、界限に散在して利用できます。
- 駅から敷地までの循環ミニバスの運行も期待されますが、今後の工夫要素です。

(3) 中心市街地の都市構造と中央図書館候補地のイメージ

駅前の商業施設群プロムナード、パルテノン多摩、多摩中央公園、中央図書館へと、多摩市の中心市街地環境がつながり、賑わいのゾーンがひろがっています。中央公園の緑のむこうに、図書館にはふさわしい落ち着いたアカデミックな施設が並びます。ガラス張りの図書館内の活動が公園から見ると楽しい情景です。



※出典：平成22年4月
多摩市立図書館協議会
「多摩市における中央図書館機能およびその整備のあり方について(答申)」より
3. 中央図書館はどこに
敷地選定にあたり都心部環境との関係づけの記載を、策定委員会協議の基本資料とした。



- 人のアクセス：多摩センター駅から敷地への距離は800m程で2ルートです。
 - ・公園西側に歩行者専用路(レンガ坂)があります。
 - ・パルテノン多摩のエレベーターが改良される予定で、中央公園内を通る道は、階段部の上り下りについても快適な散策ルートとして歩けます。
 - ・南地域にお住まいの方々も歩行者専用路で焦点の辻広場からアクセスできます。

同様の赤いミニバスが、駅から離れた浦安中央図書館の前まで循環しています。料金は一律100円。

※歩行者専用路の現状勾配がバリアフリー法の勾配規定を満たしているか検証してみたい。

(4) 中央図書館候補敷地と周辺のつながりのイメージ

敷地は公園や歩行者専用路にかこまれた、約6000㎡のフラットな切り土造成の安定した敷地です。緑に囲まれて、交通や雑踏の騒音のない落ち着いた環境です。用途地域は第二種住居専用地域、建蔽率60%、容積率300%、緩い日影規制です。建築面積は3600㎡まで可能ですから、図書館開架は2層で構成できて理想的です。敷地内には、駐輪場のほか駐車場は100台以上必要に思われますが、図書館計画を破綻させずに配置や動線を工夫して、魅力的な都市環境の一部としたいものです。敷地や施設を公園に開きつなげるために、中央公園の隣接部側での竹木の整理や築山のしつらえの再整理などが望まれると、基本構想では議論されています。

(5) 街とつながり、開かれた中央館の活動と環境のイメージ

環境を想像して、基本構想が議論されました。風景や活動の見え方が大切だと話されました。では、明るい印象づくりの工夫が必要と意見、緑陰の読書テラスや、周辺の緑に突き出た読書バルコニーの魅力も話し合われました。夜間も集会や展示に利用できるゾーンは公園に開かれて光があふれていたり、教室のように机がただ並ぶのではなく、グループで三々五々に集えるラーニングコモンズも紹介されました。三次元プリンターのある図書館のメイカースペースも最近の話題です。関戸や永山の駅前図書館とは異なる、図書館活動の奥行きと広がり想像されました。

メーカーに統一(Maker)

◎ 航空写真で見える中央図書館候補地と周辺のつながりのイメージ

